

2027 年度・計算機センター特別研究プロジェクト募集要項

計算機センター所長 久保山 哲二

■ 2027 年度における主な変更点

- ① 公募枠として「Cプロジェクト（情報基盤高度化プロジェクト）」を新設した。
- ② 選考基準および選考プロセスを別途定め、本要項とあわせて事前に公表することとした。
- ③ 申込書の様式を全面的に改訂し、A・Bプロジェクト用とCプロジェクト用の2種類とした。
- ④ 採択されたプロジェクトの研究代表者および研究メンバーのうち本学に所属する者は、当該年度の計算機センター研究員を委嘱されることとした。
- ⑤ 報酬・謝礼および旅費について、高額な支出を予定する場合の事前申出制を導入した。
- ⑥ 応募方法を改め、押印を不要とするとともに、研究代表者本人の学内メールアドレスからの電子メールによる提出とした。
- ⑦ 採否の決定とあわせて交付額を決定し、支出計画の内容によっては減額して採択する場合があることを明示した。
- ⑧ 前年度と同様のテーマで申請する場合に、前年度課題との差分の記載を必須とした。

1. 研究プロジェクトの主たる研究対象

コンピューター科学・データ科学・情報技術に関連する研究、情報技術を活用した人文・社会科学分野の研究、情報教育に関する研究など、広い意味での情報技術に関わる研究を対象とする。異分野とコンピューター科学・データ科学・情報関連分野との連携を重視し、計算機センターの教員を研究メンバーに含む研究を推奨する。

「広い意味での情報技術に関わる研究」に該当することは、公募枠を問わず選考における必須の要件である。当該研究分野において既に標準的に用いられている計算機の利用（一般的な統計ソフトウェアによる分析、計算機を計測・記録・集計の道具として用いること等）にとどまり、情報技術それ自体について方法論上の工夫・開発・検討を伴わない申請は、この要件を満たさないものとして取り扱う。該当する研究の例および該当しない研究の例は、別紙「選考基準および選考プロセス」に示す。

2. 研究期間

単年度すなわち1年間（2027年4月1日～2028年3月31日）とする。

3. 公募枠、研究費

研究費総額600万円を前提として、次のとおりA・B・Cの3つの公募枠を設ける。

公募枠	名称	1件あたりの研究費	想定総額
A	学術研究プロジェクト	80万円～100万円	400万円
B	学術研究プロジェクト	30万円～50万円	100万円
C	情報基盤高度化プロジェクト	30万円～100万円	100万円

・各枠の想定総額は目安であり、応募状況および選考結果に応じて計算機センター運営委員会が調整する。

- ・採択に値する申請が想定件数に満たない場合には、想定総額を下回る採択となることがある（第8項参照）。
- ・研究費の支出は、「2027年度・計算機センター特別研究費支出要領」に従うこと。
- ・研究費で購入した物品はプロジェクト期間終了後も引き続き代表者の管理のもと利用できるが、プロジェクト期間終了後の維持は、代表者の所属部署にて行うこと。

3. 1 Aプロジェクト・Bプロジェクト（学術研究プロジェクト）

学術研究としての成果の公表を目指す研究を対象とする。AとBは研究費の規模による区分であり、審査の観点および評価基準は同一である。申請額の規模に見合った研究計画であるかは評価の対象となる。

3. 2 Cプロジェクト（情報基盤高度化プロジェクト）

本学の情報基盤・情報環境（ネットワーク、情報セキュリティ、認証基盤、サーバ・クラウド基盤、教育・学習支援システム、研究データ基盤等）の技術的高度化に資する、実践的な調査・設計・開発・実証を対象とする。なお、本学の環境が対象に含まれるような取り組みであれば、その技術的成果が他機関にも一般に適用しうるものであることを妨げない。成果の一般性は、選考において積極的に評価する。

- ・Cプロジェクトでは、論文等の学術業績の公表を必須の成果要件とはしない。これに代えて、第7. 3項に定める学内還元活動を必須の成果要件とする。
- ・Cプロジェクトも「広い意味での情報技術に関わる研究」の一部である。単なる機器の更新・調達、通常業務としての保守運用、既製品の導入のみをもって内容とする申請は対象としない。技術的な調査・比較評価・設計・実装・実証のいずれかを実質的に含むことを要する。
- ・応募資格はA・Bと同様、本学の専任教員・助教に広く開かれている。ただし本学の情報基盤を対象とする性質上、計算機センターおよび関係部署との協議・調整を要する内容を含む場合は、応募前に計算機センター事務室に相談すること。

4. 研究メンバー、応募資格

-
- ・A・B・Cプロジェクトいずれについても、代表者は本学の専任教員ないし助教とする。研究メンバーは、代表を含め10名以内の「本学専任教員・助教」および学外の研究者とする。
 - ・研究メンバーとなる学外研究者のうち、高度の研究能力を有し、かつ、本学に一定期間滞在して共同して研究に従事する者については、学習院大学客員研究員規程に基づき、客員研究員として申請することができる（規程により、客員研究員は本学に実際に赴き当該研究に従事する必要がある）。
 - ・本センター教員・助教を研究メンバーとした共同研究課題の提案を推奨するが、本センター所属教員・助教を研究メンバーとしない研究課題も応募できる。
 - ・本学の異なる学部・研究科に所属する研究者を研究メンバーに含む課題を推奨する（選考において加点の対象とする）。
 - ・2027年度に内外研修（国内研修・国外研修）に従事する教員は、プロジェクトの代表者になれない。2027年度のうち一部の期間のみ研修に従事する場合も同様とし、研修期間の長短を問わない。
 - ・代表者としての重複応募は認めない。A・B・Cを通じて、代表者としての応募は1件に限る。
 - ・原則として、過去の申請および受け入れ予定のある他の研究費と同様の研究内容での申請は認めない。
 - ・前年度と同一または類似のテーマでの申請は推奨しない。同様のテーマで申請する場合には、申込書に、前年度課題の到達点、本申請において新たに取り組む事項、および前年度課題との差分を具体的に記載すること。

- ・上記の差分の記載がない申請は、要件不備として選考の対象外とする。記載があっても、前年度課題からの実質的な発展が認められない場合は不採択とする。
- ・過去2年度（2025年度・2026年度）に本プロジェクトの代表者として採択された者は、申込書の「過年度採択課題の実施状況」欄に、当該課題の成果および報告義務の履行状況を記載すること。報告義務を履行していない場合は、選考において減点の対象となる。
- ・過去2年度に本プロジェクトの代表者として採択された者であって、提出期限を経過した報告（「計算機センター年報」への研究報告、中間報告、成果報告会での報告）が応募受付期間の終了時点でなお未提出である場合は、応募することができない。

5. 応募方法

- ・応募枠に応じ、次のいずれかの様式を用いること。 A・Bプロジェクト → 「新規申込書（2027年度版・A／Bプロジェクト用）」、 Cプロジェクト → 「新規申込書（2027年度版・Cプロジェクト用）」。
- ・申込書の各記入欄には字数の目安を示している。記入欄が空欄のもの、および目安を著しく下回る記載にとどまるものは、要件不備として選考の対象外となることがある。なお、入力枠の幅を適宜変えることは認められる。
- ・予算計画書には、研究計画にそった配分額および内訳を記入すること。とくに報酬・謝礼および旅費については、単価・回数・人数・支払先の別・研究計画上の必要性を明記すること。
- ・申請書一式は計算機センターの Web ページ (<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/cc/>) よりダウンロードすることができる。
- ・提出は電子メールによる。研究代表者本人の学内メールアドレス（@gakushuin.ac.jp のもの）から、計算機センター事務室（cc-off@gakushuin.ac.jp）宛に、申込書（別紙1・別紙2を含む）の電子ファイルを送信すること。学外のメールアドレスからの送信、および紙媒体の持参・郵送による提出は受け付けない。
- ・申込書に押印は要しない。研究代表者本人の学内メールアドレスから送信されたことをもって、研究代表者本人による申請とみなす。
- ・メールの件名は「2027年度特別研究プロジェクト申込（応募枠・研究代表者氏名）」とし、ファイル形式は Word 形式（.docx）または PDF 形式とすること。
- ・受付期間内に事務室から受領確認の返信を行う。送信後3開室日を経ても返信がない場合は、計算機センター事務室（内線6618）に問い合わせること。

6. 応募受付期間・提出先・スケジュール

応募受付期間	2026年10月1日（木）～11月10日（火）正午
提出先	計算機センター事務室 cc-off@gakushuin.ac.jp （問い合わせ：内線6618）
選考	2026年11月下旬～12月（必要に応じヒアリングを実施）
採否の決定・通知	2026年12月ないし2027年1月中を予定

7. 研究の成果、報告の義務等

7. 1 全公募枠に共通する義務

- (1) 各プロジェクト代表研究者は、A4で1枚の「中間報告」を2027年11月下旬までに計算機センター事務室へ提出すること。

- (2) プロジェクトの代表者は、2028 年度に開催予定の計算機センター主催「特別研究プロジェクト成果報告会」にて、研究概要について報告すること。代表者が報告できない場合は、必ず代理を立てて報告すること。
- (3) 各プロジェクトは、翌年発行される「計算機センター年報」に「研究報告」または「解説」を発表する義務がある（締切は 9 月 1 日、A4 版 24 ページ以内）。
- (4) プロジェクトの関連研究の発表に際しては、計算機センター特別研究費により研究が行われたことを付記すること。
- (5) 原則として、「計算機センター年報」に発表・掲載する著作物の著作権は学校法人学習院に帰属し、その管理は計算機センターが行う。

7. 2 A・Bプロジェクトの成果要件

2028 年 8 月末までに、学会・研究会での口頭発表、学術誌・紀要等への論文投稿、著書の刊行、またはプレプリントの公開などの対外的な研究成果の発表を行うこと。「計算機センター年報」に掲載する研究報告には「外部発表実績」の欄を設け、発表先・発表内容を記載すること。学術研究誌等で論文を公表した場合は、公表先等の情報を計算機センターに通知すること。やむを得ず対外発表に至らなかった場合には、その理由および今後の対外発表に向けた具体的な展望を研究報告に明記すること。

7. 3 Cプロジェクトの成果要件

Cプロジェクトについては、論文等の学術業績の公表を必須の成果要件としない。これに代えて、次の(1)および(2)をいずれも年度内に実施し、その記録を「計算機センター年報」の研究報告に記載することを必須の成果要件とする。申込書には、それぞれの具体的な計画を記載すること。

- (1) 成果物（ソフトウェア、設定・構築手順、設計・評価ドキュメント、データセット等）の公開、または学内における実証導入。
- (2) 成果を説明する場を年度内に 1 回以上持つこと。次のいずれの形態でもよい。
 - ・学内における研究会・セミナーの開催
 - ・本学の教職員または学生を対象とする技術講習会・ハンズオンの実施
 - ・学外の研究会・研究集会・技術コミュニティにおける発表
 - ・技術報告・解説記事の執筆
- ・(1)については公開先または導入範囲を、(2)については実施の形態、実施日、対象者・参加者数、内容の概要を、それぞれ報告すること。
- ・成果要件を履行しなかった場合は、翌年度以降の選考において減点または不採択の対象となる。

8. 選考方法

-
- ・計算機センター運営委員会のもとに選考委員会を置き、選考委員会による評価に基づき、運営委員会が採否を決定する。
 - ・選考委員会は、計算機センターおよび複数の学部から選出された委員（1 学部につき 1 名まで）により構成する。委員は、自身が所属する学部・センターに所属する申請者の申請の評価には加わらない。
 - ・選考は、別紙「2027 年度 計算機センター特別研究プロジェクト 選考基準および選考プロセス」に定める基準に従って行う。同文書は本要項とあわせて公表する。
 - ・評価は点数により行い、採択に必要な最低点を設ける。応募件数が公募枠に満たない場合であっても、最低点に達しない申請は採択しない。

- ・選考委員会は、研究計画とあわせて予算計画を審査する。運営委員会は、採否の決定と同時に交付額を決定する。
- ・研究計画そのものは評価できるが、予算計画の一部について必要性・妥当性が認められない場合には、当該費目を減額したうえで採択することがある。減額して採択された場合は、採択通知の受領後2週間以内に、修正した予算計画書を計算機センター事務室に提出すること。
- ・必要に応じてヒアリングを行うことがある。
- ・選考の際には、新規の研究メンバーによる研究課題、本学の異なる学部との共同研究課題、および計算機センター教員との共同研究課題を優先する。
- ・選考結果に対する個別の異議申立ては受け付けない。

9. 採否の決定

2026 年 12 月ないし 2027 年 1 月中を予定とする。採否の決定にあたっては、あわせて交付額を決定する。申請額のとおり採択される場合のほか、減額して採択される場合がある。

10. 補則

- ・採択されたプロジェクトの研究代表者、および研究メンバーのうち本学に所属する者（共同研究者）は、当該年度の計算機センター研究員を委嘱されるものとし、応募にあたってはこれを受諾すること。
- ・計算機センター研究員は、次年度の本プロジェクトの選考委員となることがある。
- ・報酬・謝礼および旅費について高額の支出を予定する場合は、支出要領の定めるところにより、事前に計算機センター事務室へ申し出ること。

【関連文書】

- ・2027 年度 計算機センター特別研究プロジェクト 選考基準および選考プロセス
- ・2027 年度・計算機センター特別研究費支出要領
- ・新規申込書（2027 年度版・A／Bプロジェクト用）
- ・新規申込書（2027 年度版・Cプロジェクト用）